

2019年3月1日

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院放射線科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名] 冠動脈 CT における β ブロッカー投与による心機能への影響

[研究の背景と目的]

心臓は動いている臓器であるため、冠動脈 CT ではモーションアーチファクトという撮影画像の劣化の影響を強く受けます。このアーチファクトを軽減し、良質な画像を得るためには、 β ブロッカーという脈をゆっくりとさせる薬の利用が不可欠です。 β ブロッカーを用いた冠動脈 CT はすでに通常診療に利用されており、学会でも β ブロッカーの使用が推奨されています。しかし、 β ブロッカーには心臓の収縮力を落とすという報告が薬理的にされています。そこで、私たちは、冠動脈 CT 検査の前処置で用いられる β ブロッカーが心機能に与える影響の研究を行います。それにより β ブロッカーの安全性および冠動脈 CT で心機能を測定することにおける正確性を検討したいと考えています。

[研究の方法]

- 対象となる方 2015年4月1日～2018年3月31日に当院において、冠動脈 CT 検査を受けられた患者様 約 250 名
- 研究期間 医学倫理審査委員会承認日から 2020年7月1日
- 利用する検体やカルテ情報 冠動脈 CT の結果および心エコー図検査の結果、および年齢、性別、身長、体重、内服薬等を研究に利用させていただきます。
- 検体や情報の管理 患者様から集めさせていただいたデータは個人が特定されないように匿名化し、院外への持ち出しは一切行わないように徹底します。

[研究組織]

- 研究代表者： 東京医科大学病院 放射線科 主任教授 齋藤和博

●分担研究者： 東京医科大学病院 放射線科 後期研修医 小久保玲志

[個人情報の取扱い]

●個人を特定できないように符号化し、匿名化を行います。

● 情報管理責任者： 東京医科大学病院 放射線科 助教 鈴木邦仁

[問い合わせ先] 東京医科大学病院

東京医科大学病院 放射線科

電話番号 03-3342-6111 (代表) (内線) 62845

担当医師：主任教授 齋藤和博